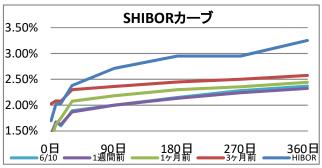
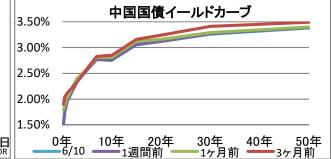
# セントラル短資中国金融市場调報 (2022年6月6日~2022年6月10日)

基準レ-	-ト	2022/6/10	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.6994	-0.0101
	JPY/CNY	4.9857	-0.1705
SHIBOR	3M	2.0000%	+0.0010%
国債利回り	10年	2.75%	-0.01%
上海総合指数		3,284.83	+89.37





## (1) 概況

国際金融市場では、米国でのインフレピークアウトへの思惑がある状況下でCPI発表を週末に控えて神経質な取引が続く中、ECBが7月からの金融引締めを決めてリスクオフモードが強くなり、週末に米CPIが予想を上回る高い伸びとなったことから、債券利回りが大きく上昇し、株式市場が下落して週末を迎えている。外為市場では、米国の急速な金融引き締めへの懸念からドル高が進んだ。

中国金融市場では、ロックダウン解除や米政府高官の関税引き下げ検討発言、更に中国政府の経済活動正常化に向けた政策対応の加速方針やIT企業に対する規制緩和への期待も高まり、国外からの投資資金も流入に転じる中、株式市場は続伸し、その後に上海の一部が再封鎖となったものの国外からの資金流入による上昇が続いて週末を迎えている。債券市場は小動きとなったが、外為市場では中国の景気回復期待による人民元高と米中金利差拡大懸念によるドル買戻しによるレンジ取引となった。

中国では、上海や北京の一部地域が再度ロックダウンになる等、習主席は感染防止と経済の両立実現を訴えるものの、感染完全防止の困難さが懸念されている。中国銀行保険監督管理委員会は、政府の経済活動正常化政策の金融面での支援として、小規模企業企業金融支援策(返済猶予に加え、融資先数と残高の純増)を金融機関に要請している。また、中国国防部長は、アジア安全保障会議(シャングリラ会議)において多国間主義やアジアの平和と安定に加え、人類運命共同体の政策理念推進姿勢を示している。

#### (2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元に対し、新規リバースオペ500億元による中立調整を実施。

#### (3) 主な経済指標

- ・<u>CPI(5月)</u>は、前年比+2.1%(4月、同+2.1%)と横ばいながら、前月比では-0.2%のマイナスに転じている。前年比では燃料価格の上昇が続き、食品価格も上昇しているが、前月比では食品価格が下落に転じている。
- ・PPI(5月)は、前年比+6.4%(4月、同+8.0%)と、燃料価格を主因に依然高水準ながら7ヶ月連続で上昇幅を縮小している。生産財価格は高水準ながら上昇幅を縮小する一方、生活品価格には低水準ながら上昇傾向が見え始めている。

## ②資金市場

#### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD	
	01.1201.1	MO_PRO/III	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	AAA	
ON	1.4030%	1.4200%	1.4500%		
1W	1.6750%	1.7800%	1.6000%	1.2500%	
2W	1.6010%	1.7000%	1.6200%	1.2500%	
1 M	1.8900%	1.9200%	2.1000%	1.8900%	
3M	2.0000%	3.5000%	2.8000%	1.9200%	
6M	2.1480%	3.4000%	2.4000%	2.0300%	
9M	2.2820%			2.2600%	
12M	2.3690%	3.2000%		2.3850%	

景気回復期待や四半期末が意識されて金利水準は上昇し易い状況となったものの、当局の資金供給に対する安心感を背景とする資金需給が安定している状況に変化はなく、金利水準は依然落ち着いている。ターム物は1ヶ月の2.1%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、四半期末となる6月末越えの金利水準の上昇もあり、変動は小幅ながら水準はやや上昇。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.9%前後、3ヶ月が1.9%台、6ヶ月が2.05%前後、1年が2.35%前後に小幅に上昇。

#### (2) 米ドル資金(本土内)

/ 不   ル只並(十二   1)				
	BID	OFFER		
ON	0.75%	0.77%		
1W	0.78%	0.80%		
1M	1.00%	1.10%		
3M	1.50%	1.60%		
6M	2.00%	2.10%		
12M	2.60%	2.80%		

9月以降の金融政策を占うピークアウト期待もある米CPIの発表と四半期末を控えて様子見となった。中国国内市場は短期中心でターム物は1ヶ月の1.1%前後での出合いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.53%		1.92%	2.11%	2.29%
6M	1.78%		2.07%	2.24%	2.43%
1Y	2.01%	2.01%	2.42%	2.42%	2.63%
3Y	2.35%	2.52%	2.80%	2.89%	2.98%
5Y	2.57%	2.77%	3.07%	3.31%	4.02%
10Y	2.75%	3.08%	3.38%	3.59%	4.38%

債券市場では、景気回復期待に加えて四半期末が意識されて短期債利回りが上昇したものの、中長期の利回りに大きな動きは見られなかった。ロックダウン解除や米国の関税引き下げ検討等による景気回復期待が高まる中、上海での一部再封鎖による懸念もIT企業に対する規制緩和期待による国外からの資金流入を背景に株式市場が上昇したこともあり、中国の債券利回りは方向感のない小幅な値動きに終始し、10年債利回りは2.75%に低下(米10年国債3.16%との差は41bpに拡大)。

イールドカーブは、四半期末要因から短期債の利回りが上昇する一方で、中長期債利回りに変化がなかったことから、 一段とフラットニングが進んだ。また、クレジットスプレッドは、利率債、信用債ともにほぼ同様の値動きとなったこと から概ね変化はなかった。

## 4 先物為替市場

	USD / CNY
1W	10.2 / 10.7
1 M	47.0 / 48.0
3M	81.0 / 83.0
6M	72.0 / 75.0
9M	45.0 / 50.0
12M	12.0 / 18.0

対ドル基準レートは6.6994と前週末比-101pipsのドル安元高、対円基準レートは4.9857と同-1705pipsの円安元高と、中国の景気回復期待の元高で始まり、その後は上海の一部再封鎖と米中金利差拡大懸念からのドル買戻しを映じた設定となった。中国国内市場では、中国金融市場への資金流入による人民元買いが入るものの、国内での感染再拡大や米中金利差拡大懸念からのドル買戻し圧力も強く6.65-6.70のレンジ取引となっている。

先物は、国外からの資金流入に加え、米中金利差拡大への懸念からスワップ幅が週半ばから再度縮小に転じてており、1年物は8日(水)にマイナスに転じ、10日(金)には一時-80まで低下後に-60台に戻して週末を迎えている。

#### ⑤金利スワップ

21351232					
	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360		
3M	1.88%		1.75%		
6M	1.99%	2.16%	1.83%		
9M	2.05%	2.29%	1.89%		
1Y	2.09%	2.36%	1.94%		
3Y	2.33%	2.71%	2.00%		
5Y	2.53%	2.96%			
7Y	2.68%	3.13%			
10Y	2.84%	3.31%			

スワップ金利は、短期の基準金利と債券利回りともに変化がなく小幅な値動きに終始。債券利回りとの金利差である スワップスプレッドも概ね変化なく、横ばい推移。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。